

# 聖和短期大学通信 No.8

卒業生の皆さまには、ますますご活躍のこととおよび申し上げます。さて、今年も聖和短期大学通信第8号を、お手元にお届けいたします。さて、今号より聖和短期大学の先生方から「研究室より」と題して、順番に近況報告を掲載することになりました。今号は中川香子先生と波田埜英治先生の懐かしい研究室よりお届けします。ぜひ、学生時代のことや聖和のキャンパスを思い出しながらご一読ください。

## 中川研究室より ～ 春を待つ美術室より ～

卒業生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。聖和の森はまだ冬枯れの景色ですが、日に日に明るさを増す日差しは、春の訪れが近いことを教えています。

ときどき、ずいぶん前の卒業生から連絡をいただきます。そのときには、こんなやりとりがあります。「先生、まだ聖和にいらっしゃいますか。」「はい、まだいますよ。」長くここにいるおかげで、これまでほんとうにたくさんの学生さんたちと出会ってきました。今でも年賀状をくださる卒業生の方もいて、それを読むのは新年の楽しみの一つです。

ところで、冬の聖和キャンパスで一番寒い教室はどこかご存知ですか。それはたぶん、3号館の美術室です。私は、「保育内容表現」や「ゼミ」など、ほとんどの授業をこの教室で行っています。3号館はキャンパス内で最も古い建物になりました。以前の美術室では暖房機がしばしばストップしたので、真冬の授業では、学生たちがマフラーを巻きコートを着ながら製作をしていました。数年前に新しいエアコンが取り付けられましたが、学生たちはこの教室で研究発表の「造形祭り」や卒業製作に意欲的に取り組んでいます。（作品等は聖和のホームページに掲載）また教室以外の授業では、昨年、ゼミの学生と京都の美術館に出かけて、絵本作家の作品展を楽しみました。

私のライフワークである伝承遊びの研究も細々と続けています。授業では、聖和の森でかくれんぼやかごめかごめなどをして遊んだことを昨日のこのように思い出します。皆さんの笑顔が美しい森の木々のなかに溶けて、まるで一幅の絵のようでした。聖和の森は、大人も子どもも、そこを訪れる人々を素敵な主人公にしてくれますね。



美術室でお茶会

最近、嬉しいことがありました。それは、卒業生の子どもさんが入学したことで、BPプログラム（保育実践力育成プログラム）で懐かしい卒業生とこのキャンパスで再会できたことなどです。阪神淡路大震災や関西学院との合併後は、キャンパス内の建物などは新しくきれいになりましたが、聖和短大には変わらない香りが満ちています。それは、歴史を繋いできた教職員や学生たちの思い——聖和の教育への誇りと保育への情熱——から醸成されたものでしょう。私ももう少しこのキャンパスで、子どもの成長に欠かせない「発見・工夫・表現」を大切にしながら過ごしていきたいと思っています。皆様も、お元気で活躍ください。（春を待つ美術室より）

教授 中川 香子

## 波田埜研究室より ～ 学生との思い出の品々 ～

月日が経つのは早いものです。私が前職の児童養護施設を退職して聖和大学聖和短期大学の教員としてお世話になって14年目です。今、教員一年目のことを振り返るといろいろなことを思い出します。赴任1年目は何もわからないで戸惑うことだらけで、不慣れな私を助けてくれたのはゼミの学生でした。アドバイザーとして就職指導をしなければならないのに幼稚園や保育園の情報がほとんどなく十分なアドバイスができなかったのですが、ゼミ生全員が就職内定や進学を決めてくれました。そのときは、本当に胸を撫でおろしたことをよく覚えています。

学生との一番の思い出は大学祭で模擬店を出したことです。当日までにゼミリーダーが中心となって何回も話し合いをしながら準備を進めました。大学祭前日には、ゼミ生全員が役割分担をして買い出しをしたり、看板を作ったり、売り物（カレーうどん等）の札を作成したりして少しでも多く売り上げをあげようと工夫を凝らしていました。大学祭当日は朝早くから集合して売り物（カレーうどん等）の下ごしらえや模擬店の飾りつけをしていました。いよいよ、大学祭本番では、大きな声を出して呼び込みをしたり、移動販売をしたりしながら売り物（カレーうどん等）を売っている姿は今日に浮かびます。本当に大学祭を十分に楽しんでいました。そして、大学祭の売り上げで打ち上げ夕食会をして、馬鹿みたいにはしゃぎながらおしゃべりをしていた姿は、まさしく、大学生活を十分に楽しんでいる一コマでした。学生たちが残してくれた大学祭の看板等は思い出の品として研究室に今でも飾っています。



ゼミ生が送ってくれた色紙や写真も研究室に飾っていますので時間があるときには聖和キャンパスに遊びに来てください。最後に、聖和短期大学の宝物は学生であり卒業生です。これからも、それぞれの与えられた場所で精いっぱい活躍をしてくれていることをお祈りいたします。

准教授 波田埜 英治





## ☆2号館が完成・オープンします

昨年の聖和短期大学通信No.7でもお知らせしましたが、ヒマラヤ杉の移植も無事に終了し、聖和キャンパス10号館跡地に建設が進められてきた2号館が完成し、2017年4月1日より、いよいよオープンします。聖和キャンパスのちょうど中央に位置する2号館は学生の学習・研究活動および生活支援の新しい拠点としてスタートします。

<2号館の概要>

1階および2階の一部は、学生の自主共同学習スペースであるラーニングcommonsが入ります。聖和キャンパスのラーニングcommonsは「リプラ（※注）」と名付けられ、聖和キャンパスの「学びの中心地」としての機能が期待されています。「リプラ」は、仲間と「集まる」、交流のなかでアイデアを「練り上げる」、それを実際に「やってみる」という3つのアクションを連動・展開させ「学び」をともに探究する場所として、より充実した学生の学習・研究活動環境が整備されることとなります。「リプラ」の開館時間は平日8時50分～21時で、週1回程度、学生の教養・感性・スキルの向上を目的とした催物（アクティビティ）が行われる予定です。

また2階には、多人数でのピアノレッスンができるシステムを備えたミュージックラボや少人数授業用の小教室が入ります。ミュージックラボは最大28名のピアノレッスンを同時に行うことができる音楽教室で、従前より行っていた少人数でのピアノレッスンに加えることで、音楽教育の新しい展開が期待されます。

1階には保健館および学生相談室が入ります。学生の心と身体をサポートする生活支援機能も2号館で担うこととなり、新しくなった面接室や体調不良時の休憩室が完備されます。

卒業生の皆さまにも、一度足をお運びいただき、新しくなった聖和キャンパスをご覧くださいただければ幸いです。

（※注）リプラ：聖和キャンパスにおける「学びの中心地」であるラーニングcommonsでの学びが、学内外に向けて「波紋」を描く（ripple out）ように広がっていくことをイメージして名付けられました。



※2号館完成予想図

## ☆保育科2年生による『大運動会』開催

1月26日（木）12時00分より、西宮聖和キャンパスの体育館アリーナで2年生の学生による『大運動会』が開催されました。

当日は2年生約130名の学生が参加しました。イ・ロ・ハ・ニ組別のクラス対抗戦形式で、ラジオ体操から始まり、リレー、玉入れ、障害物競争、綱引き、借り物競争等、各種目で熱戦が展開されました。この運動会は、アドバイザークラスのリーダーが中心となって企画から運営まで、学生が作り上げる形で開催され、それぞれの競技では工夫を凝らしたオリジナルな内容のものもあり、参加者全員が競技・応援と一体となって大いに盛り上がる内容となりました。2年生の行事としては、卒業式等を残し最後の行事となりましたが、『楽しかった』、『良い思い出になった』、『もっと長く仲間と学生生活を楽しみたい』との声も多く聞かれ、大成功のうちに終了しました。





## ☆ホームカミングデーNEWS

### 1. 2016年度ホームカミングデー報告

卒業生の皆さまにおかれましては、元氣でご活躍のこととお喜び申し上げます。

2016年度ホームカミングデーは9月4日（日）に開催されました。今年度は、2014年3月卒業生の方に加えて、卒業10周年を記念して聖和キャンパスでの同窓会を企画していた2007年3月の卒業生を中心に内容を企画していただき、約80名の参加のもと、クイズ・ゲームなどのレクリエーション大会をマナホール（学生食堂）で開催しました。また、先生方や旧友との懇談なども行い、現況や学生時代の思い出などを思い思いに語り合いながら、楽しい一時を過ごしました。

今年度は2007年3月卒業生の同窓会も同時開催となったことから、お子さんと一緒に参加された方も多く、ベビーカー置き場や授乳・おむつ替えスペースも準備されました。子ども達の声も多く聞こえ、例年以上に「聖和らしい」ホームカミングデーとなりました。



### 2. 2017年度ホームカミングデーのお知らせ

2017年度につきましては、8月27日（日）にホームカミングデーを予定しております。皆さまにおかれましてはご多忙とは存じますが、是非、聖和キャンパスへ足をお運びいただき、近況報告や思い出話に花を咲かせていただければと思います。

また、今年度も2007年3月卒業生の方が卒業10周年を記念して同窓会をホームカミングデーに合わせて開催されたように、「聖和で同窓会をしたい！」と考えている学年、クラスがあれば、ぜひご相談ください。（※連絡先は最終ページに記載しています。電話でもメールでも結構です。）お待ちしております。

なお、開催時刻・プログラム等の詳細につきましては、聖和短期大学ホームページ等でお知らせいたしますので、ご確認いただければ幸いです。



※2007年3月卒業生の皆さん

## ☆1年生とクリスマスをお過ごし

保育科1年生は、今年初めて聖和でクリスマスを迎えました。学生たちの「聖和でのクリスマス体験」を綴ったコメントを読んでいて、ぜひ、皆さんにも今年の1年生の声をお聞かせしたいと思い、すこしご紹介いたします。

まず、クリスマスといえばサンタさん、ケーキやチキンだと思っていたという学生たち。それが、「イエス様がお生まれになった日、それをみんなで祝う日であるということを知りました」と変わります。

迎えた短大クリスマス礼拝について「イエス様がお生まれになったことを人々が喜んだと知ることになったのはクリスマス礼拝です。アドベントクランツ、クリスマスの讃美歌など、初めて体験するものばかりでしたが、クリスマスの本当の意味を知ることができ、本当に聖和に入って良かったと思いました」と書いた学生は、クリスマスを中心にいるイエス様とはどんな方なのかに気づきます。イエス様は、「たくさんの人から望まれてお生まれになり、たくさんの人に喜ばれたお方なのだと思います。周りの人が敬うのも、イエス様が人々を心から愛して心から優しくされているからだと思いました」と。

そして、このような聖和で1年間学んでみて、「どのような人にも優しくできる人に、そして保育者になりたい」という学生の言葉がありました。小さな人たちに仕え、愛する保育者を養成するために建てられた、関西学院・聖和短大の使命と責任を改めて思われます。在学生、教職員のためにどうぞ祈り、お支えください。

宗教主事 小見のぞみ



※関西学院グリークラブのみなさんから、ステキな歌声のクリスマスプレゼントをもらい大喜び

—2016年12月8日短大ロングチャペル（千葉学長撮影）

## ☆「保育実践力育成プログラム (BP) —保育の学び直しプログラム—」のご案内

本プログラムは、保育の現場で働く人材の確保のために、しばらく職場を離れていた幼稚園教諭や保育士が職場復帰を希望する際や、資格を持ちながらも働いていない保育士等に対して、最近の保育の状況・動向等を現場実習も含めて学び直すことができるようなプログラムを提供するものです。

この講座の特徴は、自信を持って職場復帰することができるように新しい保育制度や家庭支援等の理論、アレルギーや危機管理等の保育配慮する事項、保育実践等の内容、および現場実習で編成しています。また、本プログラムの内容は、現職の保育士が「質の高い保育」を実施するために重要な事項も含まれており、現職研修としても活用できるように計画的に構成しています。

「保育は人の手によって行われる営み」であり、子どもの育ちに大きな影響をあたえるのは「保育者」です。本講座の受講者が、より高度な専門的知識や技術を修得し、今後保育のリーダーとして活躍できる力を育成することを目指しています。

### <プログラムの概要>

- 受講要件：①幼稚園教諭免許または保育士資格を有すること。  
②全期間受講できること。
- 受講期間：平成29年4月～平成30年3月（1年間）
- 開講科目：保育と研修（集中講義）、保育実践（実習）、  
保育学研究演習（演習）  
（BP）修了証書を発行いたします。



※プログラムの詳細に関する問い合わせ先： 聖和短期大学事務室（Tel.0798-54-6504）

## ☆認定ベビーシッター資格登録更新手続きのお知らせ

2010年度（2011年3月）迄の卒業生で認定ベビーシッター資格を取得された方は、登録更新を迎えましたので、お手続きをお願いいたします。

なお、資格更新期限は5年間となっておりますので、お手許の登録証（カード）を確認のうえ、更新の該当年度にはお手続きいただきますようお願いいたします。

※手続き窓口は右記参照→

### 【手続き窓口】

公益社団法人 全国保育サービス協会  
 （旧称：社団法人 全国ベビーシッター協会）  
 〒160-0017 東京都新宿区左門町6-17 YSKビル7F  
 Tel.03-5363-7455 E-mail info@acsa.jp  
 ※手続の詳細はこちらのURLへ  
<http://www.acsa.jp/htm/infomation/index.htm>

## ☆寄付金のお願い ～卒業生の皆さまから、学生支援のために～

本学では、学生生活支援および教育研究環境の充実のために、寄付金を募集しております。寄付金のお申し込み及びお問い合わせについては、下記までご連絡をお願いいたします。なお、寄付金のお申し込みの際には、「聖和短期大学のために」と申し添えください。

（※ご協力いただいた寄付金は、個人、法人ともに税制上の減免措置を受けることができます。）

【寄付金に関する申込・問い合わせ窓口】 聖和短期大学 事務室（〒662-0827 西宮市岡田山7-54 TEL：0798-54-6504）

### ～2017年度の主なスケジュール～ （2017年4月～2018年3月）

入学式	2017年	4月1日
夏のオープンキャンパス	6月17日、7月30日、8月27日、9月30日	
ホームカミングデー		8月27日
短期大学クリスマス礼拝		12月14日
聖和キャンパスクリスマス礼拝		12月20日
研修会（卒後支援）	2018年	2月19日
卒業感謝礼拝		3月16日
卒業式		3月17日
春のオープンキャンパス		3月23日

※上記日程は予定です。変更等がある場合は、聖和短期大学ホームページにてお知らせしますので、ご確認ください。

連絡先 聖和短期大学事務室

住 所 〒662-0827 西宮市岡田山7-54

電 話 0798-54-6504

E-mail tandai-jimu@kwansei.ac.jp

URL [http://www.kwansei.ac.jp/seiwa\\_j\\_college/](http://www.kwansei.ac.jp/seiwa_j_college/)

2017年3月1日発行

学校法人関西学院 聖和短期大学

学長 千葉 武夫